

# 和歌山スキー協通信

2025. 8. 6 (25-26 NO. 1)

## 総会

7月27日(日)、和歌山市河南コミュニティセンターにて第47回定期総会を開催しました。

出席は、池口・伊藤・田辺・辻本(シュカブラ)、木下・坪倉・山本和(きのくに)、久保・岸裏(ビュースター)、中岡大(すべりや)の10名でした。

総括・方針・決算・予算・新役員体制などが承認されました。長年、役員として和歌山スキー協を牽引してこられた小林さんが退任され、新たに木下さん(きのくに)が役員に加わってくれました。後半は参加者全員で思いを交流しました。

県スキー協ツアーについては、次回理事会(9/2)で相談します。



定年退職して農業に精を出している。スキーはいつでも行けるのでがんばりたい。

家の事情でどうなるかわからないが、行く気は十分。指導員返上する。ゆっくり(?)滑りたい。

お連れ合いと二人で楽しむことが多くなった。クラブ行事にも参加。夏も草の上を滑るのも楽しい。

2月に鎖骨を骨折したが回復。お医者さんには年を考えてそこそこにと言われた。「目一杯そこそこに」楽しみたい。

コロナ後ほとんど行けてない。もらった板が便所にあるので来シーズンはその板を十分活用したい。昔の滑りが染みついているので苦労するが、気力はあるのであと十年はがんばりたい。

一番多いときはシーズンに 30 日ほど滑った。自然と遠のいていたが、60 になってまた。カービングスキーになって求められる技術が変わったが、昔のクセが出てしまう。リラックスすることが大事。今 70。これからも機会あったら滑りたい。

なんとかうまくなりたいと日夜努力している。ひとの滑りを見ることも大事。スキーマイト 1 月号の記事も参考になった。40 年やってきた。最後の仕上げをしたい。

先シーズンは後ろからぶつかられて捻挫。その後滑ることができなかった。仕事は退職まで 5 年。あちこち行ってる。

中級指導員に挑戦した。合格には届かなかったけど、滑りの点数は合格点の 70 点にあとちょっと。12 月にはローテーションが止まらなかったが、黒姫、流葉、野沢、・・・と練習を重ね変わってきた。不整地の点数が特に低かったが、4 月の終わりにシャルマン火打で特訓して少しつかんだ。再挑戦！



## 9 月には「関西フロック学習交流会」があります

日時 9 月 27 日（土）10 時 50 分～16 時 45 分

会場 大津市ふれあいプラザ（滋賀県大津市）

講義の内容は指導員研修を中心としたものになりますが、股関節専門医の藤田裕先生による「股関節を理解してケガのないスキーヤーになろう」などは、指導員以外の会員のみなさんにも参考になるかと思います。

詳しくは要項をご覧ください。

（早割の締め切りが 8/23 になっています。参加希望の方はお急ぎください）

発行責任 中岡 大（和歌山県勤労者スキー協議会 事務局）

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail [dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp](mailto:dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp)

和歌山スキー協ホームページ <https://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>